

まちづくりの一躍を担う 地域学校協働活動

島根県大田市		●活動名			●関係する学校名	
志学小中学校 地域学校協働活動					大田市立志学小学校 大田市立志学中学校	
協働活動開始年度	平成 30 年度	学校運営協議会	指定・設置日 令和2年4月1日設置	地域学校協働本部	有	
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習	地域人材育成		
	—		放課後子供教室			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数		配置人数 2人	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人		
ボランティアの数	延べ登録人数 64人	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無	
参考URL	https://www.city.ohda.lg.jp					
●連絡先	大田市教育委員会 社会教育課		(0854)83-8125	SST（志学最高〔再考・再興〕タイム）発表会の様子		
●活動の概要・経緯	<p>大田市では『地域の教育力向上』を目的に、平成26年度に「三瓶地区」学校支援地域本部事業を導入し、地域ぐるみで学校運営を支援する体制を整えてきた。志学小・中学校区では、平成20年度から学校と地域とで組織されてきた「志学三校園の教育を考える会」で「保小中連携と今後の育てたい志学の子ども」について話し合いを重ねてきた。令和2年度からは本会を「学校運営協議会」に位置づけ、育てたい子ども像を地域で共有する体制をさらに強化している。</p> <p>また、中学校の総合的な学習の時間「SST（志学最高〔再考・再興〕タイム）」で学びを深めた中学生が「志学まちづくり協議会」が主催するワークショップに参画したり、協議会の部会の中で放課後の子どもの学びの場づくりについて話し合い、令和元年度に「SETIにこにこ教室」（放課後子ども教室）を立ち上げるなど、まちづくりの一躍を担う地域学校協働活動が展開されている。</p>					



● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

今年度で、18年目になるSST（志学最高〔再考・再興〕タイム）は中学校の総合的な学習の時間に行われる、地域課題探究学習である。各生徒が地域の課題を見出し、その解決に向けてどのような取り組みを行うことができるのかを町へ出かけて地域の方に聞き取りをしたり、資料を探したりしながらまとめ、年度末の発表会で地域住民に向けて発信している。平成29年度からは、志学小学校で「ミニSST」の学習が始まり、地域の人・もの・ことに触れて地域の実態を学んでおり、小学校と中学校とで系統的な学習カリキュラムの構築も行われている。最近では、市や県といった広いフィールドでの課題に目を向けた学びも展開されている。

【実施に当たっての工夫】

SSTの学習において専任CNは生徒の話を直接聞きながら、課題に応じた地域人材をコーディネートすることで、学習の充実と深化につなげている。また、公民館が「地域教育協議会」を開催し、三瓶地区の3名のCNのネットワーク化を図ることで、学校支援に関わる人材の相互交流や掘り起こしにつながっている。

【関係機関・団体等との連携状況】

公民館職員、専任CN、放課後子ども教室の実施主体者といった協働活動に関わるメンバーが学校運営協議会に参画することで、「心身ともに健康をめざす」「学び続ける」「思いやり」「郷土を愛する」という志学の目指す子ども像の共有化を図り、活動を実施している。また、隣接する保育園も参画することで、保・小・中の縦の連携を図る場にもなっている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

志学の全住民を対象にしたアンケート結果からは、「今後も志学に住み続けたいですか？」という問い合わせに肯定的に回答した人の割合が約7割と高い水準にあるとともに、「志学のよさや地域の宝（誇り）は何だと思いますか？」という問い合わせには、地域資源や住民同士の協力や助け合いと回答した人の割合も7割近くに達し、住民の志学に対する愛着や誇りの醸成が図られている。また、中学生がSSTの発表会で提案した内容や志学未来会議への参画を通して、子どもたちの思いを実現しようと、大人が地域資源の再活用や特産品開発に取り組もうとする「地域活性化」へ向けた動きにもつながっている。

● その他

「SETIにこにこ教室」（放課後子ども教室）は地域住民で組織する「志学まちづくり協議会」での議論をきっかけとして立ち上がり、名称は中学生から募集した。公民館は子どもの育ちに関わろうとする大人の意識醸成を図る事業を展開しながら人材育成を図っている。



にり放地
こを課域
教行後の
室つの方
して子が
いど毎
るも回
。の二
へ学名
S びの
E の体
T 場制
にづで
こく、



を民す子
行館るど
つは大も
て地人た
いるの意の
へ公育成を
事業の目的
に支にわろ
え公と